

小学校への滑らかな接続を目指す「幼小連携教育」

葛西 雅人・菊池 勇希

研修を通して学んだこと！

1年生への指導は、ゼロベースではない

①新学習指導要領における「幼保小の接続」とは？

新学習指導要領の総則において、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫する…(略)」という記載があるので、私達小学校教員も「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解し、幼児期に身に付けた資質・能力をさらに伸ばしていくという視点が必要です。

図式化して考えると下のようになるのかと思います。

小学校導入期（スタートカリキュラム）

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導で
幼児期に育まれた資質・能力を更に伸ばす！



様々な場面で発揮！

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな完成と表現



②「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは？

①健康な心と体

見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出す姿

②自立心

主体的に取り組むことで自信をもち、やり抜こうとする姿

③協同性

教師や友達と協力して生活したり、学び合ったりする姿

④道徳性・規範意識の芽生え

集団生活でのルールの必要性や善悪の判断、思いやりの気持ちなど

⑤社会生活との関わり

人と様々な関わり、自分が役に立つ喜びを感じたり、情報を役立てたりする姿

⑥思考力の芽生え

予想したり、試したり、工夫したりする姿
関わりの中で、新しい考えやよりよい考えを生み出す姿

⑦自然との関わり・生命尊重

動植物を命ある存在と認め、小さな命やその生活を大切にする姿

⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

知りたい、書いてみたい、読んでみたい、取り入れて使ってみてみたいなどと興味をもつ姿

⑨言葉による伝え合い

自分の経験や考えを伝えたり、わかりやすい話し方を工夫したり、理解しようと一生懸命に聞いたりする姿

⑩豊かな感性と表現

友達と一緒に表現することを楽しむ中で、様々な素材の特徴や表現の仕方に気づく姿

※各姿の説明については、幼稚園教育要領を参考に菊池がまとめたものなので、間違いがあったらごめんなさい。

